



1 ようちゅう ナミアゲハの幼虫

① たまごはおよそ1週間しゅうかんで幼虫ようちゅうになります。



② 生まれたばかりの幼虫ようちゅうには毛けがあります。



③ 皮かわをぬぐと黒くろと白しろのまだらまだらもようになります。



④ 4回かい目の皮めをぬぐと色いろも形かたちも変かわり、さらさらに大おおきくおおなります。



⑤ 3回かい目の皮めをぬぐとまたひとまわり大おおきくおおなります。



④ 2回かい目の皮めをぬぐといぼいぼだらけです。



参照 まつばら いわき著「いろいろなむし チョウ・ハチ・トンボ」旺文社

2 カエルのこども

カエルのように、子こどもの頃ころと姿すがたかたちや名な前まえがちがう生いきものは、ほかにもいます。たとえば・・・



コオニヤンマのヤゴ



アリジゴク

<こども>

オタマジャクシ →

ヤゴ →

アリジゴク →

ボウフラ →

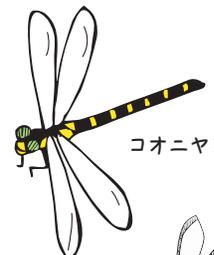
<おとな>

カエル

トンボ

ウスバカゲロウ

カ



コオニヤンマ



ウスバカゲロウ

3 な はな 菜の花

菜なの花はなとは、アブラナ科かアブラナ属ぞくの花はなをさします。

食しょく用よう油あぶらの原げん料りょうとして使つかわれるのは、

ほとんほとんどがセせいヨよウうアあブラらナなのたたねねです。

野や菜さいとして生せい産さんされていいるののは

在ざい来らい種しゆののアあブラらナなです

